

2020年7月22日

特定非営利活動法人子どもNPO 宣言書

～新型コロナウイルス感染症に向き合う社会へ向けて～

○第一に、私たちは、子どもの命を守ることと子どもの権利を保障することを最優先して行動します。

○第二に、全ての人（保護者、事業者、地域住民、行政職員、外国籍を含む全員）の命を大切に、人権を保障する視点を持ち行動します。

この度のコロナ感染症による非常事態は、私たちにこれまでの経済活動を最優先した社会に警鐘を鳴らし、人の命を守ることの大切さを改めて考える機会となりました。しかし、その反面、感染した人や医療従事者等に対する偏見や差別など人権侵害が起きています。

・私たちは、新型コロナウイルス感染症の感染者を責めたり、個人を特定したり、報道やSNSで広く人目にさらすという人権侵害の行為及び社会風土に対して、断固として否定します。

・私たちは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について上記の観点を持ち、行政や学校、施設等の関連機関が子ども及び個人の生命や人権を守る視点に立つことを求めます。また団体としても指針を掲げ、行政や関係機関に対し提言していきます。

・新型コロナウイルス感染症対策のためと言って、子どもたちの声をなおざりにする社会では、人権が守られていない社会のままです。社会の一員である子どもたち一人ひとりの声を聴き、全ての人の人権が守られ保障される社会になるように、私たちは活動していきます。